

「肺癌患者における骨転移の骨関連事象予測因子に関する後ろ向き研究」

へご協力のお願い

—平成23年1月1日～平成27年12月31日までに肺癌の治療を受け、骨転移を認めた方へ—

研究機関名 四国がんセンター

責任研究者 四国がんセンター 呼吸器内科 上月稔幸

分担研究者 呼吸器内科 野上尚之、北島寛元、原田大二郎、
整形外科 杉原進介、中田英二

1. 研究の意義と目的

本研究の目的は肺癌患者における骨転移に伴う骨関連事象(SRE)の予測因子を明らかにする

2. 研究の方法

1) 研究対象:

平成23年1月1日～平成27年2月28日までに肺がんと診断され四国がんセンターで抗がん剤治療を受けた患者さん

2) 研究期間:

平成28年2月の当院倫理審査委員会承認後～平成29年1月31日

3) 研究方法:

研究者がカルテから患者背景(年齢、性別、癌腫など)、病歴(現病歴、既往歴)、身体所見、治療状況(抗がん剤治療の内容、骨修飾薬の使用状況、放射線治療の内容、手術の内容など)、CT、骨シンチ、PET-CTなどの画像検査や血液検査の結果、副作用の情報を取得します。

これら情報をまとめて、年齢・性別などの患者背景、骨関連事象の発生状況に関する検討を後ろ向きに行い、患者さんに関する臨床情報について一連の骨関連事象に及ぼす因子の解析などの検討も行います。患者さんの個人情報には削除の上、匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4) 調査票等:

今回は患者さんのカルテから必要な情報を抽出します。抽出項目は病歴(患者背景や治療経過や内容・毒性なども含む)、血液検査、画像検査、生理学検査、病理学検査、腫瘍 EGFR 遺伝子変異検索結果、腫瘍 ALK 結果、転帰に関する情報です。調査票など新たにご希望することはございません。

5) 情報の保護:

調査情報は四国がんセンター内で厳重に取り扱います。電子情報はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。研究の結果につきましてはご希望があれば御本人、御家族に開示いたしますので、その旨担当医までご連絡ください。

この研究にご質問や協力頂けない場合には下記もしくは担当医までご連絡ください。

<問い合わせ・連絡先>

四国がんセンター 呼吸器内科 上月稔幸

電話:089-999-1114(相談支援センター) ファックス:089-999-1100